

小委員会の調査報告書

教科名	技術・家庭	委員長名 本田 辰也
調査研究の経過	1 審議の概要 (1) 第1回調査委員会を6月6日(木)に、オンライン会議(Zoom)にて開催し、技術・家庭小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。 (2) 6月7日(金)から7月10日(水)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。 (3) 第2回調査委員会を7月11日(木)に、稚内総合文化センターで開催し、報告書の作成を行った。 なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、教育図書、開隆堂の三者である。 2 調査研究の観点 調査研究の観点は次のとおりである。 (1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について (2) 「使用上の配慮等」について (3) 「その他」について	
調査研究に当たったことの配慮事項	1 「取扱内容、内容の構成・排列」について (1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。 (2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。 (3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。 2 「使用上の配慮等」について (1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。 (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。 (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。 3 「その他」について 上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。	
少数意見その他	特に記載事項はありません。	

様式 2

教科名		技術・家庭（技術分野）	
	出版社名	教科書名	番号
	2 東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	技術・002-72
取 扱 内 容 ・ 内 容 の 構 成 ・ 排 列	◎次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ○「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見だし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ○「B生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、持続可能な社会の実現に向け、生物育成の技術でできることについて話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ○「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ○「D情報の技術」において、生活や社会の中で使われている情報の技術を見付け、まとめることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよい生活の実現に向けて、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を振り返り、栽培レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○内容の構成・排列については、「技術分野の学習を始めよう」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。		
使用上の配慮等	○問題の発見や課題設定のイメージをもたせるための3コマ漫画を示したり、技術の見方・考え方に気付かせるための「技術のめがね」「最適化の窓」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。		
その他	○総ページ数は298ページとなっており、前回比－4%。 ○学習者用デジタル教科書が発行される予定。		

様式 2

教科名		技術・家庭（技術分野）	
	出版社名	教科書名	番号
	6 教図	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	技術・006-73 技術・006-74
取 扱 内 容 ・ 内 容 の 構 成 ・ 排 列	◎次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ○「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の開発の工夫と問題解決の進め方について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、身の回りで不便に感じていることなどの問題の解決に向けた学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ○「B生物育成の技術」において、生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術 について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりにつ いて理解したり、技術のプラス面とマイナス面を踏まえ、社会における技術の在り 方についてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ○「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ○「D情報の技術」において、身近な生活や社会で利用されている情報の技術について考え、見付けることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、環境調節の仕方や成長に応じた管理の仕方などの修正案をまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、3 学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料と加工の技術『技術を見つめよう』」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、		
使用上の配慮等	○問題解決の流れを学ぶための４コマ漫画を示したり、設計・計画や実習に活用できるよう技術資料を別冊にまとめたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○学習の流れを明確にするための「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の３つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつなげる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○学習全体に対する安全や各編に特化した安全のページを実習に入る前に各編全てにおいて設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。		
その他	○総ページ数は３０４ページ（別冊含む）となっており、前回比－１２％。 ○学習者用デジタル教科書が発行される予定。		

様式 2

教科名		技術・家庭（技術分野）	
	出版社名	教科書名	番号
	9 開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	技術・009-72
取 扱 内 容 の 構 成 ・ 排 列	◎次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ○「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、日常生活を見直して問題を見だし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ○「B生物育成の技術」において、季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ○「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について調べ、考えたことを情報交換することを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ○「D情報の技術」において、情報の技術と身の回りにある製品やサービスとの関わりについて考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○内容の構成・排列については、「技術の学習を始める前に」において、3 学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料を利用するための技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。		
使 用 上 の 配 慮 等	○問題解決の流れのイメージをもたせるための 4 コマ漫画 を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1 人 1 台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他	○総ページ数は 3 1 4 ページとなっており、前回比 + 4 %。 ○学習者用デジタル教科書が発行される予定。		

教科名	技術・家庭（家庭分野）		
	出版社名	教科書名	番 号
	2 東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	家庭・002-72
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	◎次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ○「A家庭・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し 創造しようとする実践的な態度を育成するよう、家庭内外の仕事について理解したり、家族が家事をどのように分担しているかを振り返ったりする活動 ○「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、環境のことを考えた調理を行ったり、住まいの中の危険について考えたりする活動 ○「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、 これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育 するよう、消費者の権利と責任に関する知識を身に付けたり、エネルギー消費を減らす方法を考え、消費生活を工夫したりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために持続可能な衣生活を取り上げ、衣服をリフォームしたり、リメイクしたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○内容の構成・排列については、内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、限られた予算の中で、地域のひとと炊き出し訓練を開催する実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。		
使 用 上 の 配 慮 等	○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く！」などのコラムを掲載したり、実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他	○総ページ数は298ページとなっており、前回比－3％。 ○学習者用デジタル教科書が発行される予定。		

教科名	技術・家庭（家庭分野）		
	出版社名	教科書名	番 号
	6 教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	家庭・006-72
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	◎次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ○「A家庭・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、高齢者とのかかわりについて理解したり、住んでいる地域のよいところを振り返ったりする活動 ○「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、災害時を想定した調理を行ったり、健康を守る室内環境の整え方について考えたりする活動 ○「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、販売方法や支払い方法に関する知識を身に付けたり、自分が住んでいる地域の消費生活センターの所在地を調べたりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために高齢者の一般的な特徴を取り上げ、ゴーグルなどを身に付けた疑似体験をするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○内容の構成・排列については、内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、しまったままの衣服について考え、買い物のむだを減らす実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。		
使 用 上 の 配 慮 等	○「環境」「共生」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう！」などのコラムを掲載したり、幼児の発達がわかる写真や実物大の写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○学習の流れを明確にするための「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の3つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつなげる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他	○総ページ数は296ページとなっており、前回比－4%。 ○学習者用デジタル教科書が発行される予定。		

教科名	技術・家庭（家庭分野）		
	出版社名	教科書名	番 号
	9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	家庭・009-72
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	◎次の目標が達成できるよう、学習活動が取り上げられている。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、実現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 ○「A家庭・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、幼児にとつての遊びの意義について理解したり、自分の成長を振り返ったりする活動 ○「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、加工食品を活用した調理を行ったり、家族の希望を踏まえた部屋の使い方について考えたりする活動 ○「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を 養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成 するよう、売買契約の成立と解約に関する知識を身に付けたり、キャッシュレス支 払いで便利になったことや困ったことについて話し合ったりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために郷土料理や行事食を取り上げ、地域の雑煮を調べて調理するなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○内容の構成・排列については、内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母と一緒に食べるお弁当をつくる実践を例示するなど、系統的・発展的に学習で容 けるような工夫がなされている。		
使 用 上 の 配 慮 等	○「消費・環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などのコラムを掲載したり、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化して示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他	○総ページ数は314ページとなっており、前回比+4%。 ○学習者用デジタル教科書が発行される予定。		